



● 「北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会」が主催する平成28年度の現場見学会に約170名の生徒が参加しました！

建設関係団体・教育機関・関係行政機関等が一体となって活動する「北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会」が連携し、平成28年度の現場見学会を県内各所で開催しました。この工事現場見学会は、身近な建設現場を教材に社会資本整備の目的や事業効果を学び、社会人との意見交換を通じて、建設業の魅力やその必要性を知ってもらおうと企画したものです。

現場見学会には石川工業高等専門学校、小松工業高等学校、金沢市立工業高等学校、羽咋工業高等学校の生徒、総勢約170名が3日間（7月12日（火）、13日（水）、15日（金））に分かれ、国や県が進めるトンネルや河川、海岸、砂防、道路、住宅などの工事現場を見学しました。

小松工業高等学校建設科の1年生約40人は、金沢東部環状道路神谷内トンネルⅡ期線の工事現場を訪れ、トンネル工事は24時間体制で掘削していることや、神谷内トンネルでは、1ヶ月あたり30～40メートル掘り進むこと、山の状態を見て補助工法を使い安全に掘削していることなどについて説明を受けました。また、実際にトンネル内に入り、ツインヘッド、コンクリート吹付機といった建設機械を見学しました。



【工事概要の説明を受けている様子】



【現場見学会に参加した学生たち】
（石川工業高等専門学校）



【現場見学会に参加した学生たち】
（小松工業高等学校）

関連URL：記者発表資料 http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/mb5_kouhou/press/h28/p0706_1.pdf

●平成27年度除雪功労者表彰式を行いました！

7月12日（火）、金沢河川国道事務所で「平成27年度除雪功労者表彰式」を行いました。これは、除雪従事者の育成強化や意識向上を図ることを目的として、道路除雪現場の最前線で永年に亘ってご尽力されている方々を表彰しているものです。今回は、前多利彦氏（丸建道路）、清原克彦氏（北川ヒューテック）の功績を称えました。

2氏はオペレーターとしての卓越した技能や指導力などが高く評価されました。式では富山英範事務所長が賞状を手渡し「除雪に携わった約200人のオペレーターの中から2人を選ばせていただいた。これを機に更なる研鑽と後進育成を」などと要請しました。これに対して受賞者を代表して清原克彦氏が「表彰を糧として今後も安全作業に邁進したい」と決意を語りました。

道路除雪は、昼夜を問わず厳しい条件での作業ですが、今後も従事される方々の御努力とともに、冬期の万全な除雪体制で安全・安心な道路交通の確保に努めてまいります。



【除雪功労者表彰式の様子】

関連URL：記者発表資料 http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/mb5_kouhou/press/h28/p0708_1.pdf



●過積載から道路を守るため「違法トラックの合同取締り」を実施しました！

7月12日（火）、国道8号の加賀特殊車両指導取締基地（加賀市熊坂町）にて、石川県警察と合同で特殊車両の取締りを実施しました。特殊車両とは、大型トレーラ、大型クレーンなどの車両の幅や高さ、重量、長さなど道路法に基づく「車両制限令」の制限値をどれか一つでも超える車両のことをいい、道路を走行する場合は通行許可を取得する必要があります。

この特殊車両の過積載は、道路や橋梁を劣化させる主要因となるだけでなく、横転や落下といった重大事故につながる危険があります。そのため、積載量や許可を受けた通行経路や走行時間帯等に違反がないかを取締るものです。

当日は特殊車両7台を確認し、4台の違反車両を取締りました。違反車両（総重量超過1台と無許可3台）には今後違反しないよう警告書を交付しました。

金沢河川国道事務所では道路の保全、重大事故防止のため、今後も警察等と連携した、取り組みを継続していきます。



【取締実施状況】

関連URL：記者発表資料

http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/mb5_kouhou/press/h28/p0711_1.pdf

関連URL：記者発表資料

http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/mb5_kouhou/press/h28/p0714_1.pdf

●国道470号 能越自動車道 輪島道路の工事現場を見学しました！

7月23日（土）、石川県立志賀高等学校の10名（1年生2名、2年生3名、3年生4名、教師1名）が、輪島市の国道470号 能越自動車道 輪島道路の工事現場を見学しました。

この工事現場見学会は、能越自動車道や輪島道路の建設に関して理解を深めていただくため実施したものです。

また、本工事は近年国土交通省が取り組んでいるi・Construction※のなかのICT活用試行工事であることから、ICT技術に対応した建設機械について間近で見て学んで頂きました。

学生は、能越自動車道 輪島道路の事業概要、工事現場の内容等の説明を受けたあと、ICT仕様の油圧ショベルカーやブルドーザーに試乗し、最新鋭の技術に触れました。

※i-Constructionとは「ICT技術の全面的な活用」「規格の標準化」「施工時期の平準化」等の施策を建設現場に導入することによって、建設現場のプロセス全体の最適化を図り、もって魅力ある建設現場を目指すものです。



【建設機械の試乗体験】

関連URL：記者発表資料

http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/mb5_kouhou/press/h28/p0721_1.pdf



●平成28年度第1回石川県道路メンテナンス会議を開催しました！

7月28日（木）、金沢河川国道事務所にて、「平成28年度第1回石川県道路メンテナンス会議」を開催しました。

本会議は、石川県内の道路施設の点検や補修・更新等を効果的・効率的に行うため、各道路管理者が連携し、老朽化対策の強化を図ることを目的に平成26年6月に設立しました。

本会議には石川県、19市町、中日本高速道路、いしかわまちづくり技術センターの担当者、金沢河川国道事務所が参加しています。

会議では、平成27年度末における点検進捗状況として、橋梁約27%、トンネル約11%、道路附属物など約50%に達し、各施設とも概ね計画どおり進捗中であること、平成28年度点検計画が報告されました。その他にメンテナンスの好事例が紹介され、各道路管理者の情報の共有がなされました。

また、橋梁点検速報として緊急措置段階の橋梁が市管理橋梁で4橋あり、いずれも通行規制などの措置を講じたことなどが報告されました。



【会議の様子】

道路メンテナンス会議HP

http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/douro/roukyuukataisaku/menntekaigi_ishikawa.htm

関連URL：記者発表資料 http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/mb5_kouhou/press/h28/p0726_1pdf

●第13回石川県道路安全・円滑化検討委員会を開催しました！

7月28日（木）、石川県庁にて、「石川県道路安全・円滑化検討委員会」を開催しました。13回目となる今回は、交通渋滞をテーマに意見を交わしました。

委員会では、県内における渋滞対策の対応方針などを説明したほか、平成24年度に選定した主要渋滞箇所157カ所が、北陸新幹線金沢開業、道路交通網の整備や有料道路の無料化、大型店舗の出店に伴い、交通の流れに変化が生じていると報告しました。

今後は「継続的に速度変化を観測（モニタリング）するとともに、ETC2.0及び民間プローブデータなどのビッグデータを用い、既往の渋滞対策の効果検証と新たな渋滞箇所の把握など、交通状況の変化を整理していく」と示しました。

このほか、渋滞対策実施箇所の整備効果を報告し、一例として、国道8号加賀拡幅 加賀市西島町～黒瀬町間では、旅行速度が4車線化前の25.9km/hから4車線化後は37.0km/hに向上し、主要渋滞箇所の中代南交差点と加茂交差点では交通渋滞が解消しているという結果を報告しました。

今後本委員会での議論を踏まえ、関係機関と連携した対策の検討及び対策効果の検証を進めて参ります。



【委員会の様子】

関連URL：記者発表資料 http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/mb5_kouhou/press/h28/p0726_2.pdf

★お問い合わせ先★

国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 副所長 杉 浩行

電話 076-264-8800（代表） F A X 076-233-9631

金沢河川国道事務所ホームページ

URL：<http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/>

金沢河川国道事務所モバイルサイト（携帯サイト）

URL：<http://roadinfo.kanazawa-mlit.com/k/>